

先日は4年ぶりに園全体での夏祭りを開催することができました。至らぬ点多々あったかと思いが、子どもたちの笑顔、そして保護者の皆様の「楽しかったです！」の言葉が聞こえたときは、ほっと心安まりました。これも夏祭り委員の皆様のご尽力のお陰です。心より感謝申し上げます。

ホールイベントで冷房を入れていても、みんなの熱気でだいぶ暑かったですね。ただでさえ暑い毎日。夏ってこんなに暑かったわけと調べてみると、世界の平均気温は19世紀からの観測史上、今年が最も暑いそうです。そして、およそ12万年前（！）の間氷期以来最も暑いという発表もあるとのこと。夜までムワツと暑いので納得してしまいます。

毎月クラス会議があり、月ごとのねらいを立てるのですが、その中の一つに『季節の移り変わりを感じる』とありました。夏から秋にかけて、風の吹き方、雲の形、空の高さが変わって見えたり、植物の様子に変化が見られ、虫の声にも風流を感じるとても良い時期、のはずでした。このままの気温では、自然の中から季節を感じるの難しいかもしれない、大人が色々示しながら変化を感じられるようにしていかなといけません。先生たちと話しました。日本の四季が変化しているように感じます。

しかし、何を言っても日々は過ぎていきます。考えることは「今どうするか」。外に行けない代わりに冷房を入れたホールで運動や遊戯をして身体を動かす、暑いからこそ氷の冷たさを感じる活動をする、などなど職員一同工夫をして、子どもたちのことを一懸念に考えながら保育をしています。なかなか厳しい環境ではありませんが、何もできない・やらないのではなく、頭を柔らかくして、何ができるかを常に考え続けていきたいと思えます。

園長 梶原 秀一

今月の予定

防災の日になんだ給食の日 9/1 (金)

1923年関東大震災をきっかけにこの日が防災の日として制定されました。避難を想定した給食としてアルファ米、レトルトカレーを食べますよ。

牛久市幼児教育指導員の先生方による「おはなし会」<年中・長児> 9/5 (火) 14:00~



宮本先生、栗山先生によりますお話会です。「ふたばの子はよく聴いてくれる」といつも仰っていただいています。園に設置しているコロコロライブラリーもご活用くださいね。

カレーライスの日 9/6 (水)



ひと月ぶりのカレーライスの日です。いつもの給食がおいしいのはもちろんのこと、みんなで作る給食も格別です。かえるグループ以上のご家庭はお忘れ物のないように！

リトミック 9/7 (木)

中島先生にリトミックをご指導いただきます。音を聴いて、反応して動きを合わせることは、表現力や瞬発力にも繋がってきます。

おべんとうデー 9/20 (水)

みんなが大好きなお弁当の日！お弁当の中味はよく冷まして、フタをして、保冷剤を入れてくださいね。大変ですが、保冷剤等一つ一つ記名をお願いします。

交通安全教室 9/22 (金)

今月は「安全な歩き方」をテーマに教えて頂きます。紙芝居やイラストは全て教化員の皆さんの手作り！分かりやすく、工夫がすごいです。

巡回相談 9/26 (火) 9:00~12:00

相談員の先生が来園し、子育ての悩みや相談を聴いてくださいます。ご都合が合わない場合は、伺った内容を職員が代わりに相談することもできます。

誕生会 9/27 (水) 10:00~

9月生まれの誕生会です！一つ大きくなることは、子どもたちに大きな自信を与えてくれるようです。見学希望の誕生児の保護者の方は時間までにお越しください。

お知らせ・お願い

★敬老の日の活動について

これまで毎年、「ご家庭で作成した祖父母へ向けた手紙を園に持参していただき、子どもたちとポストに投函する」という敬老の日になんだ活動をしてきました。おじいちゃんおばあちゃんを敬う日というのは、とても大切で、これからもずっと大事にしていかなければいけない考え方だと思います。しかしながら、様々な家族のあり方を考慮し、園を通して手紙を投函するというのではなくそうと考えています。各ご家庭で描いた手紙をお家の方と一緒に投函するなど、ご家庭の取り組みとして行っていただければと思います。何卒ご理解をよろしくお願いいたします。

★お迎えの際のお願い

お迎えで園舎に入る際には、「お迎えカード」を必ず首から下げてくださいます。また、お迎えの方が予定と変わるときには、検温表に記載されたお迎えの方が電話連絡をしてくださいますようよろしくお願いいたします。

★早朝・延長、土曜日保育申請書について

利用したい月の前月20日までは提出をお願いします。月の始めに提出いただいても構いません。(例：10月分を9月1日に提出もOK!) 期日までに未提出のご家庭は利用の予定がないと判断させていただきます。

★令和6年度新入学児童健康診断

年長児は9月後半から順次、就学先の小学校にて健康診断があります。各自市からご家庭にお知らせが届くと思いますので、日時をご確認ください。

★わくわくフェスティバル

(運動会)について

10月28日(土) 9:00~12:00予定 牛久運動公園メインアリーナにて 詳細は後日お知らせいたします。

「競争」

私の机の前に、一枚の写真がある。満面の笑みで走るI君と、私と手をつないで楽しそうに走るK君とのリレーの一場面である。▼9月になると、園では一斉に運動会ごっこが始まる。全ての子が全種目に加わってくる。リレーにも、年少児が割り込んできて、どかが先頭か分からない、ゴチャゴチャのいつまでも終わらないエンドレスリレーである。入園当初はヨタヨタ赤ちゃん走りをしていた年少児も、格好よく軽快に走っている。競い合うというより、ただ走ることを楽しんでいる。▼「僕は一番早いんだよ！」と一人が言い出す。幼児期は、誰もが「自分はずいぶんだ。自分が一番」と思えることが健全である。しかし、年長児になると、そうはいかなくなる。現実が・・・自分と他人が分かってくる。それでも、幼児期は「僕はすごいんだ！何でもやればできる。」と思うこと、自尊心・意欲を育てることが大切である。▼過度に競わせることは適切でない。その子なりの得意分野で認められていけば良いが、狭い分野だけが注目され、そこでのみ優劣をつけられると、ダメージが強くなってしまう。年長児によるクラス対抗リレーは、運動会の花形である。子ども同士が競い合うと、保護者も熱狂する。しかし、私の心は複雑。リレーの練習で、I君はいつも他のクラスの子に抜かれてしまう。リレーが終わらない内に、一人みんなから離れ、うなだれて園舎裏の暗い通路に向かって行ってしまふ。I君のくや

しき、辛い気持ちが良い分かる。胸が痛くなる。I君の後を追って、園舎の裏へ行き、2人きりになった。「リレーなんかやりたくないのに、全員参加なので、みんなのために、嫌でもやってくれたんだよね。みんなのためにやることは。素晴らしいことだ、立派だよ。そして、みんなに抜かれても、最後まで頑張るって走ることが、一番大切なことだ。早く走ることより、自分の力を思い切り出すことの方が、ずっと素晴らしい、だからI君が最高、一番！」と伝えると、目に涙をいっぱいにして、私を見つめ、私の足にしがみついていた。私も胸がいっぱいになった。そんなことがあつて、I君は私を見つめると、私に気づかないうちに、私の手をにぎっていることが多かった。▼そして、運動会当日、I君と同組で走るK君は、担任の先生と走ることになっていた。私はとっさに「私とK君で走らせて！」と告げ、K君の手を取って走り出した。先行するI君に「オーイマター！オマエは早いな」と、K君も声を出して大喜び、I君も満面の笑み、それが私の机の前の写真。運動会終了後、I君は「運動会楽しかった、もう一度リレーやりたい。」と言った。▼子ども達は、狭くなった社会の中で、小さい時から比べられる。誰もが世界に一人しかない存在で、一人ひとりと、みんな違う。その子の長所を認め、ほめて、伸ばして、自信をつけてあげたい。

理事長 浅田 精利